



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月31日

上場会社名 扶桑化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4368 URL http://www.fusokk.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉田 真一
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 伊藤 裕之 TEL 03-3639-6311
 四半期報告書提出予定日 2020年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	10,201	2.3	2,345	10.2	2,351	11.5	1,526	17.8
2020年3月期第1四半期	9,976	△6.6	2,128	△19.7	2,109	△26.5	1,296	△30.9

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 1,530百万円 (59.7%) 2020年3月期第1四半期 958百万円 (△50.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	42.99	—
2020年3月期第1四半期	36.50	—

(参考) 減価償却前連結営業利益（連結営業利益＋減価償却費）

2021年3月期第1四半期 3,592百万円 2020年3月期第1四半期 3,128百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	69,651	61,003	87.6	1,718.22
2020年3月期	69,222	60,289	87.1	1,698.11

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 61,003百万円 2020年3月期 60,289百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	23.00	—	23.00	46.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	23.00	—	23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	21,400	5.2	4,400	0.8	4,450	1.1	2,950	△2.1	83.09
通期	42,200	2.2	8,150	△7.7	8,250	△7.9	5,600	△20.2	157.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

(参考) 減価償却前連結営業利益（連結営業利益＋減価償却費）

第2四半期（累計） 7,010百万円 (9.0%) 通期 13,550百万円 (1.4%)

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）簡便な会計処理および四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	35,511,000株	2020年3月期	35,511,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	7,383株	2020年3月期	7,359株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	35,503,622株	2020年3月期1Q	35,503,798株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、世界的な新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、大幅に落ち込みました。各国政府は大規模な経済対策を実施し、各国の中央銀行も金融緩和により、経済を支えています。感染症の収束はいまだに見通せず、米中対立の激化もあり、先行きは極めて不透明な状況となっています。

日本経済においては、新型コロナウイルスの感染拡大により発令された緊急事態宣言は、約2か月で解除されたものの、再び感染拡大の兆候も見られ、個人消費や経済活動の回復には、いまだ不透明な状況が続いています。

このような情勢下、当社グループは従業員への感染対策を実施し、事業の継続に注力するとともに、成長を持続するため、各事業において、新設備の本格稼働への対応、供給体制維持のための原料の安定確保等、経営基盤の一層の強化に取り組みました。新型コロナウイルスの感染拡大の当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績への影響は、全般的には限定的でしたが、取引先の中には影響が顕在化してきている業界もあり、今後の状況を注視していきます。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は10,201百万円(前年同期比2.3%増、225百万円増)となりました。利益面では、営業利益は2,345百万円(同10.2%増、217百万円増)、経常利益は2,351百万円(同11.5%増、241百万円増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,526百万円(同17.8%増、230百万円増)となりました。

売上高、営業利益は、後述の各セグメントの要因により増収増益となりました。経常利益は、営業利益の増加に加え、前四半期連結累計期間と比較して為替差損が減少した影響により増益となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前四半期連結累計期間と比較して固定資産除却損が減少した影響により増益となりました。

当社グループの報告セグメントの業績は、次のとおりです。

(ライフサイエンス事業)

ライフサイエンス事業全体の業績は、外部顧客に対する売上高が5,678百万円(前年同期比7.1%減、436百万円減)、営業利益は853百万円(同25.6%減、293百万円減)となりました。

日本においては、前連結会計年度に引き続き原料価格に連動して販売価格が変動する契約となっている製品の販売単価が低下したこと、外出の自粛により需要に影響を受けた飲料用途向け等の製商品の販売が減少したこと、海外子会社においては、中国、米国の経済の落ち込みの影響を受けたことにより、売上高は前四半期連結累計期間を下回りました。営業利益は、原料価格の低下によるコストダウンはあったものの、新規設備の稼働に伴う減価償却費の増加によるコストアップ、売上高減少の影響により、前四半期連結累計期間を下回り、減収減益となりました。

(電子材料および機能性化学品事業)

電子材料および機能性化学品事業全体の業績は、外部顧客に対する売上高が4,522百万円(前年同期比17.1%増、661百万円増)、営業利益は1,783百万円(同39.1%増、501百万円増)となりました。

半導体市場はデータ量の増大によるサーバー需要の増加等により引き続き堅調に推移しました。さらに、半導体の微細化の進展に伴い、当社の製品の超高純度コロイダルシリカの採用も増加しています。在宅勤務の進展によるトナー需要の減少もあり、ナノパウダーの売上は減少しましたが、前連結会計年度から引き続き、在庫を積み増すユーザーもあり、超高純度コロイダルシリカの売上が順調に推移した結果、売上高は前四半期連結累計期間を上回りました。営業利益は、売上高の増加、増産によるコストダウン効果により、前四半期連結累計期間を上回り、増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ428百万円増加し、69,651百万円となりました。これは主に、現預金の増加によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ285百万円減少し、8,647百万円となりました。これは主に、賞与引当金および支払手形及び買掛金が減少したためです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ714百万円増加し、61,003百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年5月8日の決算短信で公表しました第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,468,059	17,801,349
受取手形及び売掛金	10,274,938	10,077,759
有価証券	98,055	108,925
商品及び製品	6,369,281	6,248,168
仕掛品	456,399	489,446
原材料及び貯蔵品	1,282,454	1,447,712
その他	558,988	385,999
貸倒引当金	△8,635	△7,561
流動資産合計	35,499,542	36,551,798
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,701,029	10,519,539
機械装置及び運搬具（純額）	10,609,162	9,873,565
土地	6,890,096	6,889,066
建設仮勘定	307,871	703,691
その他（純額）	382,991	375,951
有形固定資産合計	28,891,152	28,361,814
無形固定資産	2,423,654	2,311,093
投資その他の資産		
投資有価証券	852,765	924,045
長期前払費用	40,049	13,928
繰延税金資産	1,299,544	1,279,934
退職給付に係る資産	41,634	34,845
その他	178,396	177,835
貸倒引当金	△4,000	△4,000
投資その他の資産合計	2,408,389	2,426,588
固定資産合計	33,723,196	33,099,497
資産合計	69,222,738	69,651,296

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,083,944	1,842,342
未払金	2,883,888	3,023,742
未払法人税等	940,857	784,151
賞与引当金	545,961	296,814
役員賞与引当金	83,440	25,615
修繕引当金	280,551	259,412
その他	277,924	621,985
流動負債合計	7,096,567	6,854,063
固定負債		
繰延税金負債	121,458	121,141
退職給付に係る負債	1,601,092	1,559,787
資産除去債務	8,289	8,289
その他	106,050	104,644
固定負債合計	1,836,891	1,793,863
負債合計	8,933,458	8,647,926
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,334,047	4,334,047
資本剰余金	4,820,722	4,820,722
利益剰余金	49,950,515	50,660,394
自己株式	△4,694	△4,771
株主資本合計	59,100,590	59,810,393
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	333,382	382,048
繰延ヘッジ損益	1,889	1,131
為替換算調整勘定	853,416	809,796
その他の包括利益累計額合計	1,188,688	1,192,976
純資産合計	60,289,279	61,003,369
負債純資産合計	69,222,738	69,651,296

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	9,976,497	10,201,669
売上原価	6,261,379	6,248,283
売上総利益	3,715,117	3,953,385
販売費及び一般管理費	1,586,181	1,607,410
営業利益	2,128,936	2,345,974
営業外収益		
受取利息	19,850	9,439
受取配当金	10,647	10,758
受取手数料	4,340	2,489
その他	10,721	7,201
営業外収益合計	45,559	29,889
営業外費用		
為替差損	64,157	20,324
その他	698	4,017
営業外費用合計	64,855	24,341
経常利益	2,109,640	2,351,521
特別利益		
固定資産売却益	—	90
補助金収入	—	2,224
特別利益合計	—	2,315
特別損失		
固定資産除却損	99,307	2,711
特別損失合計	99,307	2,711
税金等調整前四半期純利益	2,010,332	2,351,125
法人税、住民税及び事業税	719,669	824,738
法人税等調整額	△5,546	△75
法人税等合計	714,122	824,662
四半期純利益	1,296,210	1,526,462
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,296,210	1,526,462

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	1,296,210	1,526,462
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33,297	48,666
繰延ヘッジ損益	△6,070	△758
為替換算調整勘定	△298,347	△43,620
その他の包括利益合計	△337,715	4,287
四半期包括利益	958,494	1,530,750
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	958,494	1,530,750
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,010,332	2,351,125
減価償却費	999,561	1,246,617
固定資産除却損	99,307	2,711
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,353	△1,003
賞与引当金の増減額(△は減少)	△194,706	△249,277
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△42,912	△57,825
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	16,485	△34,592
修繕引当金の増減額(△は減少)	△184,823	△21,139
受取利息及び受取配当金	△30,498	△20,198
為替差損益(△は益)	62,045	17,023
固定資産売却損益(△は益)	—	△90
補助金収入	—	△2,224
売上債権の増減額(△は増加)	18,809	187,520
たな卸資産の増減額(△は増加)	159,571	△87,633
仕入債務の増減額(△は減少)	△220,045	△243,202
未払金の増減額(△は減少)	370,742	434,703
その他	603,101	393,771
小計	3,668,324	3,916,287
利息及び配当金の受取額	28,883	26,155
補助金の受取額	—	2,224
法人税等の支払額	△921,817	△923,278
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,775,390	3,021,388
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△124,450	△242,720
定期預金の払戻による収入	523,474	309,965
有価証券の取得による支出	△163,190	△108,696
有価証券の売却による収入	100,111	96,858
有形固定資産の取得による支出	△844,583	△797,976
有形固定資産の売却による収入	202	107
無形固定資産の取得による支出	△7,502	△49,738
投資有価証券の取得による支出	△1,548	△1,585
長期貸付金の回収による収入	26	30
その他	△11,990	△211
投資活動によるキャッシュ・フロー	△529,451	△793,966
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△76
配当金の支払額	△799,722	△805,927
リース債務の返済による支出	△2,067	△1,406
財務活動によるキャッシュ・フロー	△801,789	△807,410
現金及び現金同等物に係る換算差額	△135,242	△21,520
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,308,907	1,398,491
現金及び現金同等物の期首残高	10,223,662	16,083,028
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,532,570	17,481,519

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ライフサイエ ンス事業	電子材料お よび機能性 化学品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,114,816	3,861,680	9,976,497	—	9,976,497
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,114,816	3,861,680	9,976,497	—	9,976,497
セグメント利益	1,147,568	1,281,914	2,429,482	△300,546	2,128,936
減価償却費	141,622	853,776	995,398	4,163	999,561

(注) 1. セグメント利益の調整額には、提出会社の総務部門・経理部門等、一般管理部門に係る費用△300,546千円が含まれています。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ライフサイエ ンス事業	電子材料お よび機能性 化学品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,678,679	4,522,989	10,201,669	—	10,201,669
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,678,679	4,522,989	10,201,669	—	10,201,669
セグメント利益	853,809	1,783,199	2,637,009	△291,034	2,345,974
減価償却費	421,726	819,001	1,240,728	5,889	1,246,617

(注) 1. セグメント利益の調整額には、提出会社の総務部門・経理部門等、一般管理部門に係る費用△291,034千円が含まれています。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。